

3. 地域包括ケア「見える化」システムについて

(1) 概要 資料 1

地域包括ケアシステムの構築に向けて、住民も含めて、地域別の特徴や課題、取組等を客観的かつ容易に把握できるように、介護・医療関連情報を共有（「見える化」）するためのシステムの構築等を推進する。

(2) 目的 資料 2

- 1) 介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援
- 2) 課題抽出や、取組事例等を参考にすることによる適切な施策検討
- 3) 行政関係者の情報、課題意識や検討状況を共有し連携を促進
- 4) 人事異動による影響を補完し、継続性のある施策を実行
- 5) 地域関係者間での取組共有により地域包括ケアシステムの構築を推進

(3) 機能について 資料 3

- 1) 介護・医療の現状分析・課題抽出支援
- 2) 課題解決のための取組事例の共有・施策検討支援
- 3) 介護サービス見込み量等の将来推計支援
- 4) 介護・医療関連計画の実行管理支援

(4) 指標リリースのスケジュールについて 資料 4

平成 27 年度に地域包括ケア「見える化」システムを開発し、現在も運用しているところであり、今後も情報の更新・追加を予定している。

(5) 1.5 次リリース（平成 28 年 2 月 26 日）について

実行管理・将来推計については、都道府県や保険者のみが閲覧・作業可能な指標である。

- 1) 実行管理（詳細は介護保険計画課関係資料を参照）

2) 将来推計（詳細は介護保険計画課関係資料を参照）

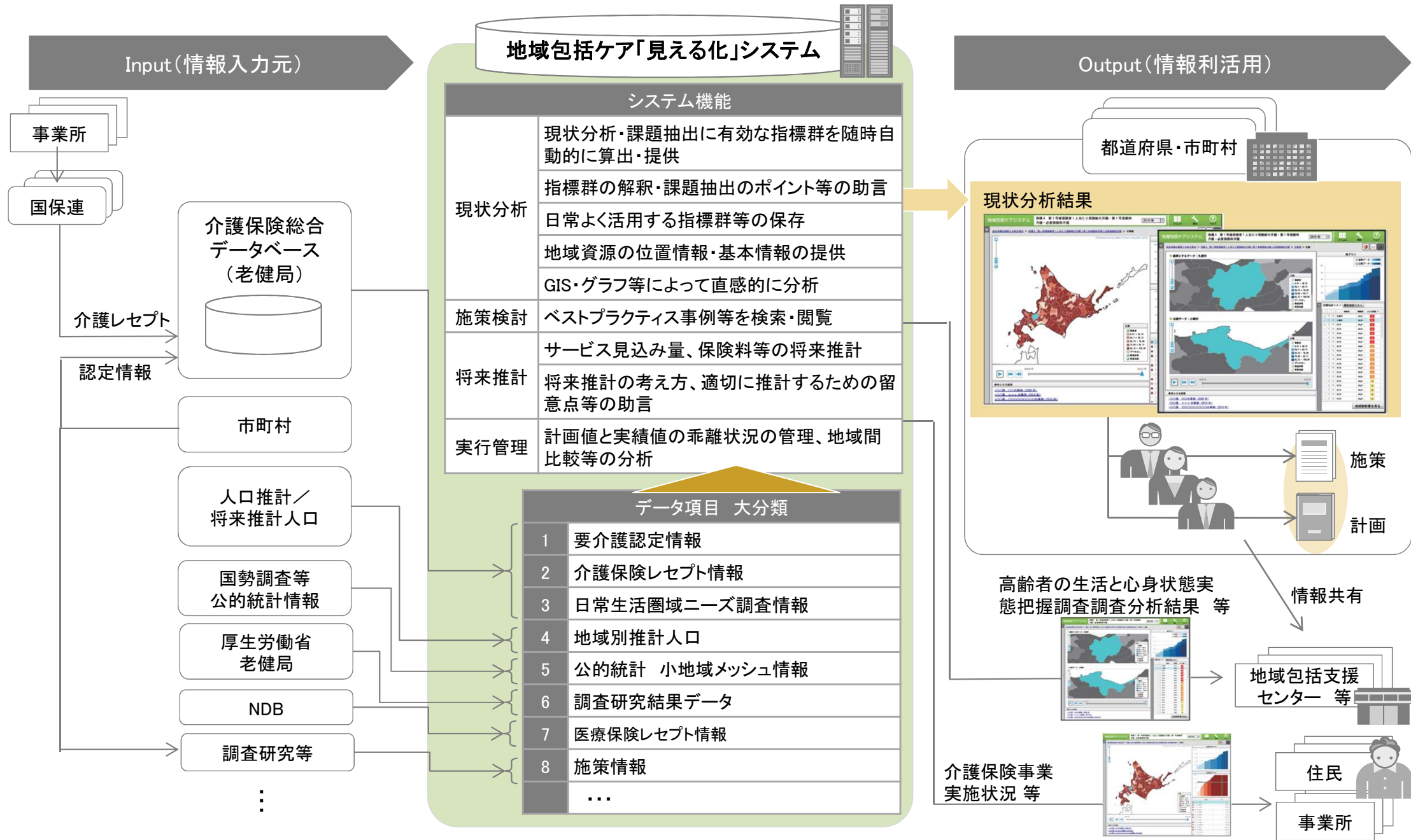
(6) 2.0次リリース（平成28年7月予定）について

- 1) 第7期介護保険事業（支援）計画策定に向けた操作練習用ワークシート
- 2) 在宅医療・介護に関する資源のデータ
- 3) 介護人材推計結果
- 4) 地域間比較のための情報の充実
 - ・性・年齢構成、地域区分の違いを調整した指標
 - ・類似する保険者のグルーピング

(参考)

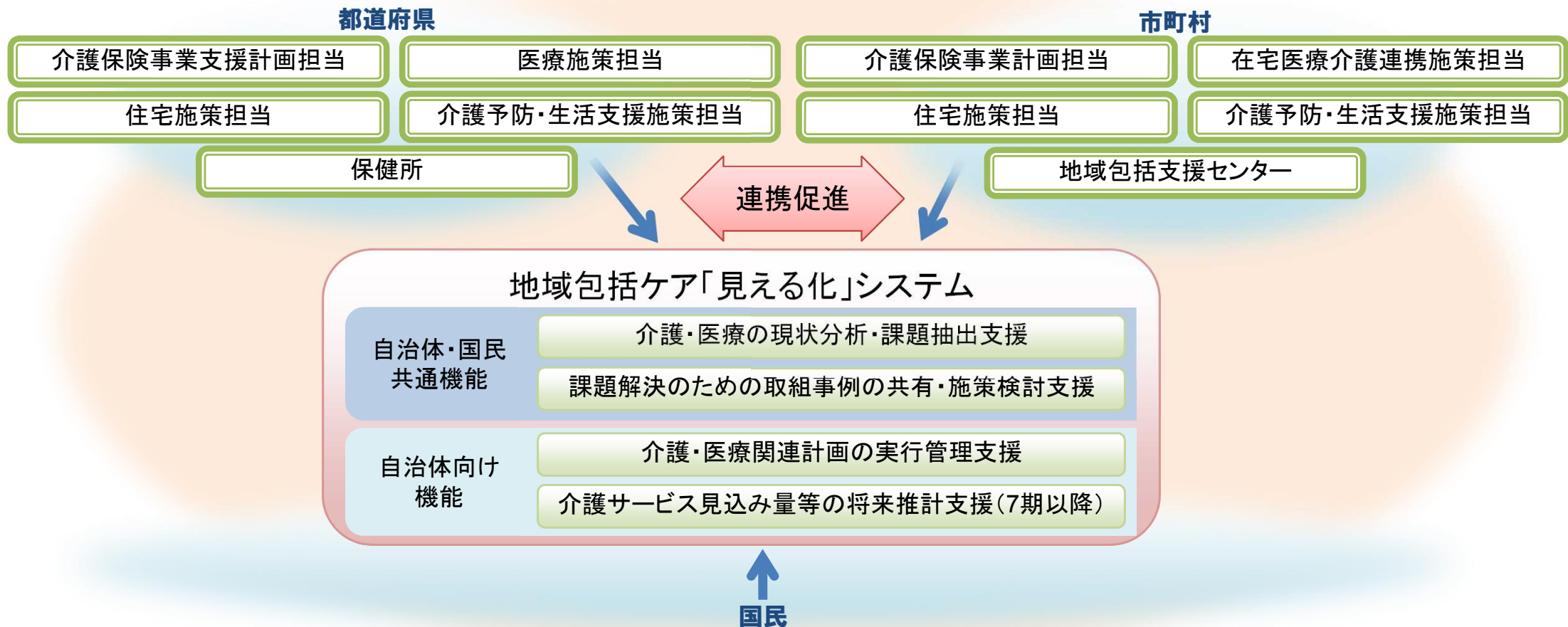
- 1) 地域包括ケア「見える化」システム <http://mieruka.mhlw.go.jp/>
- 2) 各自治体の介護保険主管課に対して、アカウント（ID・パスワード）を配布済である。アカウント情報を把握できない場合は、事務連絡（平成27年7月24日）をご確認いただきたい。
※なお、自治体ユーザーの利用に限定しない機能については、一般国民も閲覧可能である。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、市区町村職員のみならず、住民も含めて、地域別の特徴や課題、取組等を客観的かつ容易に把握できるように、介護・医療関連情報を共有（「見える化」）するためのシステムの構築等を推進する。



地域包括ケア「見える化」システムの目的

- 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムである。
- これにより、都道府県・市町村は地域間比較等による現状分析から課題抽出が容易になり、同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参考にすることで、自らに適した施策を検討しやすくなる。
- また、都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を共有することで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携をしやすくなる。
- 加えて、担当者の人事異動による影響を効果的かつ効率的に補完することができ、スピード感をもって継続性のある施策を実行しやすくなる。
- さらに、一部の機能を除き、誰でも利用することができるようになり、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有でき、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しやすくなる。



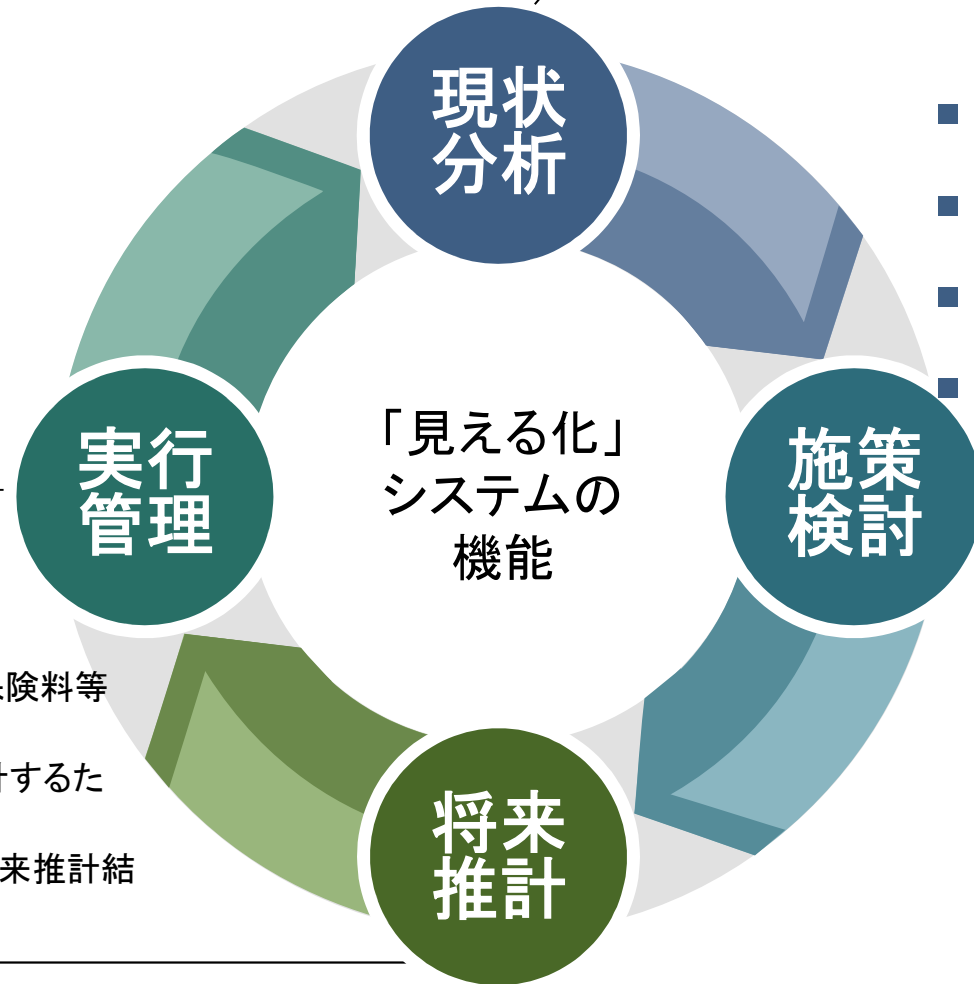
- 地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における計画策定・実行を支えるために「介護・医療の現状分析・課題抽出支援」「課題解決のための取組事例の共有・施策検討支援」「介護サービス見込み量等の将来推計支援」「介護・医療関連計画の実行管理支援」の機能を提供する。

介護・医療関連計画の実行管理支援

- 介護・医療関連計画における将来推計結果、定量目標値等(計画値)の登録機能
- 計画値と実績値の乖離状況の管理、地域間比較等の分析機能

介護サービス見込み量等の将来推計支援(7期)

- 介護サービス見込み量、介護保険料等の将来推計機能
- 将来推計の考え方、適切に推計するための留意点等の助言機能
- 国・都道府県による市町村別将来推計結果の集計・分析機能



介護・医療の現状分析・課題抽出支援

- 公的統計及びレセプト情報等から現状分析・課題抽出に有効な指標群を随時自動的に算出・提供する機能
- 提供される指標群の解釈・課題抽出のポイント等の助言機能
- 日常よく活用する指標群等を保存しておく機能
- 介護サービス事業所、医療機関等の地域資源の位置情報・基本情報の提供機能
- 提供される情報をGIS・グラフ等によって直感的に分析可能な機能

取組事例の共有・施策検討支援

- 現状分析から抽出された課題、地域特性等の条件を設定して柔軟に先進的取組事例、ベストプラクティス事例等を検索・閲覧可能な機能

地域包括ケア「見える化」システムの指標リリースのスケジュール

- 平成27年夏に1.0次リリースした後も、継続的に情報の充実・機能強化を行う。
- 1.0次リリースについては、3段階に分けてリリースする予定であり、「現状分析」と「施策検討」の機能を優先する。

	平成26年度		平成27年度				平成28年度				平成29年度	
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
地域包括ケア「見える化」システムの開発	1次 1次 設計・開発											
	リリース時期: ★1次 ★1.3次 ★1.5次											
	1次 順次運用											
	2次 2次 設計・開発											
2次 運用												
3次 3次 設計・開発												
3次 運用												
機能					1次リリース			2次リリース		3次リリース		
「現状分析」					1次	1.3次	1.5次					
現状分析・課題抽出に有効な指標群の閲覧・データ取得機能					○	●	●	●		●		
提供される指標群の解釈・課題抽出のポイント等の助言閲覧機能					○	●	●	●		●		
提供される指標群のデータのExcelファイルへの出力・グラフ画像保存						○						
日常よく活用する指標群等を保存しておく機能						○						
介護サービス事業所、医療機関等の地域資源の位置情報・基本情報の閲覧機能						○		●		●		
提供される情報に関するGIS・グラフ等による直感的な分析機能					○	●	●	●				
日常生活圏域の設定・日常生活圏域単位の指標群の閲覧						○				●		
「取組事例」												
先進都道府県・市町村の取組事例、ベストプラクティス事例等の検索・閲覧					○	●	●	●		●		
「実行管理」 ※自治体ユーザのみ利用可能												
計画値と実績値の乖離状況の管理、地域間比較等の分析機能							○					
「将来推計」 ※自治体ユーザのみ利用可能												
介護サービス見込み量、介護保険料等の将来推計機能								○		●		
将来推計の考え方、適切に推計するための留意点等の助言閲覧										○		